

こころの医療センター五色台

実施日	令和7年7月30日（水）	実施時間	14:00 ～ 16:00
参加人数 計 2名	小学生0名（男0名・女0名） 中学生0名（男0名・女0名） 高校生2名（男0名・女2名） その他0名（男0名・女0名）		
実施 プログラム	精神科救急病棟内見学し、血圧測定の実験 精神科作業療法の見学 特殊疾患病棟でのユニット活動見学、参加 車いす移乗体験、寝たきり患者用マット運動、リフト乗車体験 ホースセラピーのポニーとふれあい体験 振り返りと質疑応答		
実施内容	7/30(水)に 2名の高校生が精神科病院での「ふれあい看護体験」に参加してくれました。精神科救急病棟内を案内し、精神科作業療法の治療目的などを説明し、実際に作業療法をしているところを見学しました。最初は精神科病棟という事で緊張した様子でしたが、病棟内の雰囲気や患者の様子を見て、「怖い」というイメージは無くなったようでした。 特殊疾患病棟でのユニット活動では患者がカラオケをしている様子を見学したり、車いす乗車体験、寝たきり患者になりきってもらいマット運動時の患者移乗用のリフト乗車体験やお互いに血圧測定を実施してもらいました。また、当院で実施しているホースセラピーのポニー3頭と触れ合ってもらい、ホースセラピーの治療効果や意味を知ってもらいました。 質疑応答では児童思春期の精神科看護や DPAT について興味があると質問がありました。 今回の「ふれあい看護体験」をきっかけに精神科医療・看護のイメージが変わり、興味を持っていただけたのではないかと思います。今後の進路に役立ててほしいと思います。		

参加者の声

3年 T・S

今日のふれあい看護体験を通して、一般的な病院と少し違った雰囲気を味わうことで新しく医療・看護の視点を知ることが出来ました。

また患者さんの病気や性格を知り、患者さんの特性に合った接し方を心がけることが大事だと知るいい機会でした。精神科と聞いて少し身構えていた部分もありましたが、看護師も患者さんと楽しめるカラオケなどがあり楽しかったです。そして、血圧測定や注射器を実際に見たり、体験することで、私も医療従事者となりたくさんの人と多く関わって行きたいという気持ちが大きくなりました。



3年 U・N

看護師さんや作業療法士さんたちの雰囲気がとても良く、働くならこんな場所が良いなと思いました。また、リフトや車いすなどたくさん体験することができ、とても楽しかったです。器具や場所などの説明を都度して頂いたので、どんな風に使うのかや患者さんがこの病院でどうやって過ごしているのか理解を深めることが出来ました。質問にも丁寧に答えてくださり、今回の体験を通してさらに看護師になりたいという気持ちが強まりました。ギリギリになっての申し込みだったにも関わらず、すごく丁寧にわかりやすい体験をしていただき、本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

